

《履修証明プログラム 開講時間割表（2026年度前期4月～8月）》※時間割は予定のため変更となる場合があります。

■=講義の各コース共通科目 ■=陶芸 ■=ガラス

曜日	分野別 コース別	9:00	10:30	10:40	12:10		13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50	
		1		2		昼休み	3		4		5		
月	ガラス												
	陶芸												
火	ガラス												
	陶芸												
	講義	①生産・工芸デザイン概論 (初級者～上級者) [22.5時間]<1225>		②素材・材料論 (初級者～上級者) [22.5時間]<1225>									
水	ガラス	③クラフト実習 I (初級者～中級者) [67.5時間]<9601>											
	陶芸												
木	ガラス	④クラフト特別演習 (上級者) [45時間]<9601>					⑤クラフト応用実習 I (中級者～上級者) [67.5時間]<9601>						
	陶芸												
	講義		⑥芸術工学概論 (PC/VD) (初級者) [22.5時間]<1225>										
金	ガラス												
	陶芸												

※ [] 内の時間は、15週の総時間数です。

【開講科目】

①生産・工芸デザイン概論	
②素材・材料論	※詳しい授業内容については、本学ポータルサイトをご参照ください。
③クラフト実習 I	https://portal.kobe-du.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
④クラフト特別演習	【 KDUポータル(KDUポータル - Universal Passport) ⇒ <ゲストユーザーでログイン> ⇒ シラバス検索】
⑤クラフト応用実習 I	
⑥芸術工学概論①[PC・VD]	

【履修コース組み立てに当たっての注意点】

- 1プログラム、120時間以上になるように授業を選択してください。授業は毎週行われ、半期期間中、15回行われます。
- 受講者は個人のレベルを、おおむね3段階《初級者》《中級者》《上級者》を目安に組み立ててください。
- 1プログラムが完了した後、続けて次のプログラムに出願することができます。
- クラフトの実習は、個人単位の作業です。どの時間の実習授業を選択しても担当教員は、個人のレベルに合わせた指導を行います。

【履修モデル（参考）】

《初級者の方…経験年数が少ない方》

- ◎講義から「生産・工芸デザイン概論」「素材・材料論」「芸術工学概論①(PC・VD)」の3講座
- ◎実習から「クラフト実習 I」の1講座

《中級者…工芸系専門の高等学校または、カルチャーセンター等で実技を経験した方》

- ◎講義から「生産・工芸デザイン概論」「素材・材料論」の2講座
- ◎実習から「クラフト実習 I」「クラフト応用実習 I」の2講座

《上級者…4年制の専門大学または専門学校等で実技習得した方》

- ◎講義から「生産・工芸デザイン概論」「素材・材料論」の2講座
 - ◎実習から「クラフト実習 I」「クラフト特別演習」「クラフト応用実習 I」の3講座
-